

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（変形燃料貯蔵ラック及び収納缶の設置）に係る面談
2. 日時：令和2年1月14日（火）17時15分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
山中係員、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名

5. 要旨

○原子力規制庁は、実施計画の変更認可申請（変形燃料貯蔵ラック及び収納缶の設置）のうち、共用プールにおける変形燃料の取扱いについて、申請の内容が不足していたことから、説明及び補正申請を提出するよう求めていたところ、東京電力ホールディングス株式会社から、令和元年12月10日の実施計画の審査の進捗状況等に係る面談にて、当該取扱いについては別途申請する旨連絡があったため、本申請に関する追加の指摘事項を伝えるとともに、今後の進め方について説明するよう求めた。

➤ 指摘事項

- ✓ 収納缶が無い状態で変形燃料貯蔵ラックに健全燃料を挿入した場合の未臨界性評価
- ✓ 上記のような意図しない取扱操作に対して、未臨界を維持する為の物理的対策等
- ✓ 破損燃料等の受入れによる共用プール冷却浄化系、換気系への影響評価
- ✓ 変形燃料貯蔵ラック、収納缶及び吊具に適用する基準・規格等の提示

➤ 今後の進め方

- ✓ 別途申請するとした共用プールにおける変形燃料の取扱いについて、取扱装置の設計方針、計画内容及び水深による遮蔽確保の考え方等について、本申請で記載する範囲及び別にする申請の範囲を整理すること
- ✓ 当該ラックの現地工事の時期等を勘案して今後の工程を明示すること

○東京電力ホールディングス株式会社から、コメントについて対応する旨回答があった。

6. その他

資料：なし

以上